
岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 佐藤 芳満

学校住所 可児市中恵土 2 3 5 8 - 1 電話0574-62-1185

1 会議の名称 学校評議員による会議（第1回）

2 会議の構成 委 員 石原 好弘 可児工業高等学校同窓会監査
〔石原・大島設計事務所代表〕
加藤 皓 可児市中恵土自治会連合会長
佐藤 千枝 可児市青少年育成推進員
徳田 泰昭 可児工業団地組合代表〔徳田工業(株)社長〕
水野 三千代 多治見法人会可児支部女性部
〔キング印刷紙工(株)取締役〕

（委員名は五十音順）

学校側	佐藤 芳満	校長
	渡部 邦夫	教頭
	服部 長務	教頭
	古川 司朗	事務長
	古田 哲	教諭
	兼松 竹司	教諭
	川合 正郎	教諭
	小島 金也	教諭

3 会議の目的 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指して開催。

4 会議の開催 平成18年7月4日（火） 10：00～12：00

於：可児工業高等学校 校長室

委員4人（徳田委員 欠席）、学校側8人が出席

（佐藤委員 3日来校）

- 5 会議の概要 今年度第1回目ということで、委嘱書の交付、出席者の自己紹介、会の趣旨説明、学校の現況説明、授業及び施設見学、その後、見学の感想を述べていただき 評議員の方々から意見をいただく形式をとった。

(1) 本年度の教育活動について(授業及び施設見学含む)

- サブテーマ ・特色ある学校づくりについて
・社会、企業が求める工業技術者とは
・キャンペーンによる基本的生活習慣の確立について

- 意見1 工業高校へは初めての参観であった。専門性、特に機械設備の見学が出来良かった。教室が狭いという印象を受けた。
- 意見2 生徒が真剣(実習)に取り組んでいた姿が印象的であった。工業高校の施設見学は初めてであって内容もかなり専門的であり感動した。
- 意見3 時代に沿った新しい機械設備の導入など今後必要になってくると思われる。施設面でも生徒が意欲を持って頑張れるよう努力して欲しい。
- 意見4 実習室の環境は整っていると感じたが、教室や先生方の職員室の環境面について冷房装置等検討がいるのではないかな。
- 意見5 学校の「育てたい力」特に、コミュニケーション能力の大切さについては痛感する。一人にいる子、仲間に入れられない子がいると思われるので是非育てていただきたい。
- 意見6 企業では見習い期間がある。見て覚える、我慢する事なども教えて欲しい。
- 意見7 職場での若者を見ていると今は、「ガッツの無い子・仕事の段取りが悪い・指示待ちの子・効率が悪い・時間の無駄遣い」の子が多いと感じる。教育活動でこのあたりを参考に指導に役立ててもらいたい。
- 意見8 今はマルチ社会と感ずる。これだけが出来るとは駄目。いろんな事が出来るようになって欲しい。外国人の方がよく働くという話も聞く。
- 意見9 普通高校では得られない資格取得など、熱意を持って取り組める子の育成や、何事にも前向きに取り組める機会を多く与えるように。

意見 10 企業社会では勤務時間等、時間が不規則になることもある。3交代制や場合によっては定時で帰れないこともある。時間に対応できる生徒の育成が必要と思う。

意見 11 メリハリのある学校生活、環境づくりが必要で場合によっては2～3週間集中する実習なども必要ではないか。

意見 12 (自分の子供の例から)生徒会活動などで自信を付けた。生徒が先生とのつながりの中で飛び込める雰囲気を作ると良い。コミュニケーションづくりの大切さを感じる。

(2) 本校に期待すること

サブテーマ ・外部からみた本校の様子
・地域連携の在り方

意見 1 MSリーダーなどが活躍し、地域に貢献している姿は新聞等で知っているが、地域の方と誘い合って一緒に行くことが出来ると、学校の顔がもっと見えてくると思われる。

意見 2 「見守り隊・サポート体制」を朝夕地域として強化している。高校生は小中学生と違って登下校の時間がずれているが、安全確保について情報提供や注意の呼びかけを。

意見 3 「こどもまつり・公民館活動」などの地域活動に参加していただき、子供達が大変喜んでいて。今後もこうした活動を積極的に進めて欲しい。

意見 4 この地区で車上ねらいや占有物離脱等多いと聞いている。「安全・安心モデル地区」として連携が取れるよう情報交換を密にしたい。

意見 5 交通安全・防災訓練などは地域にとって欠かせない行事である。生徒もこうした行事に積極的に参加し、連携を深めると生徒自身の力が身に付くのではないか。

意見 6 特色化選抜ではどのような学校をアピールするのか。充分理解されていない中学校もあるようだ。中学校への学校紹介の在り方や充実を図り、生徒募集に生かすと良い。

意見 7 草取りをはじめ自治会と信頼しあえる体制づくりをお互いに進めたい。災害の避難場所ともなっているのだから、顔見知りになれるよう機会を作ると良い。

意見 8 インターアクトなど地域交流を深め、生徒が自発的に動く事により、学校のリーダーづくりに役立つと思う。

意見 9 地域には工業団地もあり卒業生も多いと思われる。学校との連携を密にして、相互の交流や人材派遣などコンタクトを取ると良い。

6 会議のまとめ

3人の方に今年度から評議員をお願いした。施設見学と授業参観では、初めての方にとっては工業高校の機械設備や授業内容に興味を示され、又、生徒の実習態度に感動を持たれた様子のコメントがあった。

「本年度の教育活動について」では、特にコミュニケーション能力の育成を重点に置いた指導が教育活動全般を通じて展開する必要があると意見をいただき、反映させたい。

又、資格取得や部活動、対外行事にも積極的に取り組み、マルチ社会に通用する生徒の育成が大切であるとアドバイスをいただいたので、諸活動での雰囲気作りに努めたい。

「本校に期待されるもの」については、生徒・職員とも地域住民を対象にした開放講座や地域行事への積極的に参加協力を行い、地域に期待される開かれた学校づくりを進めたい。学校周辺の「安心・安全な地域社会」スローガンを共有し、行事への参加や活動を展開し期待に応えたい。又、学校周辺自治会の方へは、広報誌（回覧）などを作成し、生徒の活躍や学校行事などを記載して学校紹介と連携に努めたい。